

図書館通信

最上校図書委員会
No.3 5月6日

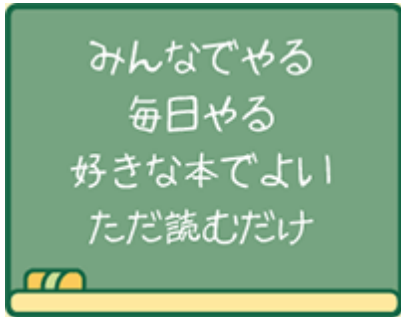


第一回 朝読書が始まります

期間 5月21日(金)～6月4日(金)

時間 8時20分～8時30分(10分間)

朝読書の4原則



- ※朝読書記録カードに、記入しましょう。
- ※雑誌やマンガ以外、読みましょう。
- ※本は前もって準備しておきましょう。



朝読書にオススメ 昔話法廷シリーズ



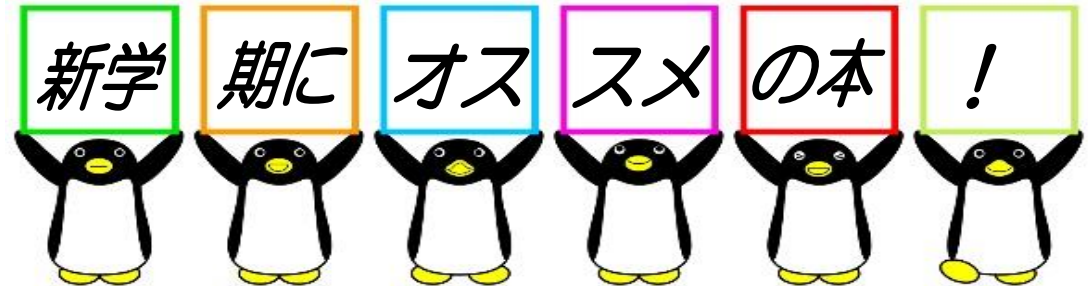
判決の出ない異色法廷ドラマで、考える力を養う！
判決を決めるのは、この本を読んだあなたです。

Season1 「三匹のこびた」
「カチカチ山」
「白雪姫」

Season2 「アリとキリギリス」
「舌切りすずめ」
「浦島太郎」

Season3 「ヘンゼルとグレーテル」
「さるかに合戦」

Season4 「プレーメンの音楽隊」
「赤ずきん」



「人間を極める」 松尾豊著

学問の第一人線で活躍する先生たちは、めちゃくちゃ個性的でおもしろい！人間という研究対象に全く異なるアプローチで研究する3人の先生たちを通じて、学問のおもしろさや奥深さを体感できる書。



読書案内も掲載。

「10代のめんどい楽になる本」 内田和俊著

10代の心のざわざわには対処法がある。思考と行動を変えれば、めんどいことから楽になれる。理想の自分に変わる方法を、マンガをまじえて解説する。



「友だちってなんだろう？」 齋藤孝著

自分の世界をもち、人に頼りきらない関係を築こう！気の合う友だちをつくる力、気の合わない友だちともうまくつきあう力、ひとりを楽しめる力を方法を詳しく紹介。



「21世紀の職業図鑑」 稲泉連著

AI時代にはなくなる仕事以上に新しい仕事生まれ、それらが花形職業になる。プログラマー(eスポーツ)、ユーチューバー、webライター、データサイエンティストなど。AIに負けない45の職業を紹介する。



「いいね！」の魔力 ゆうきゆう著

精神科医である著者が、SNSで「いいね！」を求めてしまう心理を詳しく解説します。学校の友人のグループラインに返信をするのにちょっと疲れたら、本書でSNSとの上手な付き合い方を学んでみましょう。



※ぜひ、図書館へ

5月図書館企画 第一回朝読書特集

高校生に贈る 読書のススメ!

新たな一歩を踏み出したフレッシュなあなたに!

若い人たちが本を読まなくなったと言われて、久しくなります。
若い人たちが本を読まなくなったという、年上の人たちの言葉は、若い時にこそ本を読むべきであったという、後悔の言葉でもあります。
あなた方のみずみずしい感性、好奇心、柔軟な思考、そうしたものを豊かに持ちあわせている〈若いとき〉に読書をするには、あとの生き方に必ず大きな実りをもたらします。あなたの読書を日常のなにげない習慣にすれば、思いもかけない幸せな「本との出会い」がきっとやってくるに違いありません



☆世界を、時代を、生き方を自分で考えるために 「なぜ僕らは働くのか」 池上彰監修

仕事、お金、働きがい、AIの台頭、人生100年時代。働くうえで考えるべき様々なテーマをマンガと図解で多角的に伝えます。
温かく前向きになる一冊。

「ポストコロナ期を生きるきみたちへ」 内田樹著

感染症とはさまざまな関係を侵す病だ。この災いに立ち向かうためになにをすべきだったのだろう。イタリアを代表する小説家が贈る、痛切で誠実なエッセイ集。

「ほんとうのリーダーのみつけかた」 梨木香歩著

みんなと同じでなくてはいけないという圧力が強くなっているなかで、いちばん耳を傾けるべき人はだれなんだろう。困難な時代を生き延びるために、いま考えたいこと。



☆仕事を通じて学ぶ仕事力をつける

「人生でだいじなことはみんなゴリラから教わった」 山極寿一著
世界的ゴリラ研究者が、アフリカで出会ったゴリラとそこでの経験から学んだ人生の教訓を語る。大人はもちろん友人関係や孤独に悩む子どもたちにも読んでほしい。

「イマジン？」 有川ひろ著

走るしか能のない新米、突っ走る！憧れの映像制作の現場に飛び込んだ、良井良助。そこは現実と物語を繋げる、魔法の世界だった。涙と笑顔と元気が湧いてくる！



☆物語の世界で笑い、泣き、悩みをともに

「逆ソクラテス」 伊坂幸太郎著

敵は、先入観。世界をひっくり返せ！最高の読後感。無情の短編5編を収録。

「ハリネズミは月を見上げる」 あさのあつこ著

世界の色を変えてしまう。人生にはそんな出会いがある。16歳の夏、だれにも似ていない彼女に、私は出会った。高校生から熱狂的な支持を得た青春小説！



「ぬいぐるみとしゃべる人はやさしい」 大前栗生著

“男らしさ” “女らしさ” のノリが苦手な大学2年生の七森。こわがらせず、侵害せず、だれかと繋がりたいのに。鋭敏な感性光る4編。

「ハナコの愛したふたつの国」 シンシア・カドハタ著

ハナコの家族は、ロサンゼルスでレストランを経営して暮らしていた。しかし、大きな戦争が終わり、船で日本を目指すことに。数奇な人生を送った日系人の物語。

☆前に進む力を手にしよう

「泣いたあとは、新しい靴をはこう。」

逆境のただなかにいるティーンの悩みに、ペンクラブ作家44名が言葉をもって向き合います。本気の人生相談！
「未来の自分に出会える古書店」 齋藤孝著
現代版「君たちはどう生きるのか」。ポストコロナ時代を生き抜く青少年に贈る決定版の読書・人生の手引書。

